こんにちは　日本共産党市会議員　＜議会報告＞

玉本なるみ です

連絡先：日本共産党北地区委員会　☎075 - 432 - 3261

2016年９月①号

安心できる介護制度に 介護の切り捨て許さない！

日本共産党京都市会議員団の呼びかけで介護制度についての懇談会を開催しました。京都社会保障推進協議会介護部会長の松田さんから、2018年4月の医療制度と介護保険制度のダズル大改悪の検討がされている点について、お話をしていただきました。介護保険では、介護認定で介護度１，２への介護給付を介護保険制度から外し、自治体が実施する総合事業に回し、受けられ介護サービスを減らしていこうとしていることや、介護用品の貸し出しも介護給付から外し、原則全国自己負担にしようとしていること、介護保険料の徴収年齢を現在の40歳以上を若い世代からに引き下げようとしていることなどの紹介がありました。保険制度であるのに、必要なサービスが提供されなくなる「国家的詐欺」と言えると。そうさせないように運動を広げようと提案もありました。

玉本なるみ市議は、市会議員団で実施した、介護事業所と市民の皆さんに対して実施したアンケート調査の結果の報告をしました。介護事業所の経営は介護報酬の改悪で、現在でも運営が厳しくなっていることことから、来年4月から実施される要支援の方々を介護保険の枠から外し、市が実施する総合事業への移行で、介護事業者の運営はますます厳しくなること、市民には受けられる介護サービスを削減することになる点について報告しました。介護事業所の皆さんからは、ヘルパーの仕事は介護度の悪化を防ぐ役割があり誇りを持っているなどのご意見が寄せられました。倉林明子参議院議員からは、憲法25条に触れ、運動をすすめ政治を変える必要性と厚生労働委員となり、一緒に頑張る決意が語られました。

右から報告する玉本なるみ市会議員、倉林明子参議院議員、加藤あい議員　左京区）

「敬老乗車証を守ろう！」 署名提出累計　28314筆

敬老乗車証を守ろう連絡会の皆さんが第8回目の敬老乗車証は今の制度を守ってほしいと署名4002筆を京都市に提出しました。

京都市からは、「慎重に検討している」と説明はありましたが、今の制度のままの導入は考えていない」と質問に対して答えました。引き続き、運動を広げ、敬老乗車証を守りましょう！「長寿を喜べない状況がある。敬老乗車証のおかげで、外出ができる。バスに乗るために、歩くなど、介護予防になる」と切実な声が寄せられました。

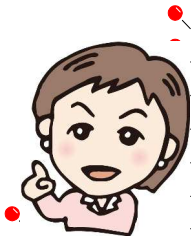
写真上：市役所周辺をアピールデモ　左から３人目が玉本市議
左写真：京都市保健局担当局長に署名を提出

つぶやき：原谷地域のスーパが閉店・・・

大変なことです！原谷の地域に唯一あったスーパーがこの夏に閉店しました。お客さんが減っていたとのことですが、コンビニが一軒あるだけになっています。買い物難民ということにならないか、対策が必要です。大型店の出店で閉店に追い込まれるお店も多くありますが、もっと地元のお商売を応援する政治にしなくてはならないと思います。

アンテナ

働くんを守る！



最近、趣味のクラリネット繋がりでお知り合いになった方は、中学校の音楽の先生でした。常勤講師として１７年近く働いて来られました。それが、突然、常勤講師の枠は、なくなったから非常勤講師として働くように言われたそうです。４３歳になって、急に一方的に、給料が激減し、生活も厳しくなる。熱心に吹奏楽部の指導もされてこられた方です。

教育委員会に問い合わせると、年度末の３月の時期にならないと、クラス数が確定しないので、講師として必要かどうかは、ぎりぎりにならないとわからないというのです。

ほんとに驚きました。人をまるで駒のように扱い、その人の人生を左右することが、公の職場で起こっているのです。正職員が優先で仕方ないとのことですが、そもそも、安上がりに労働者を使う社会自体を変えなくてはならないと強く思います。

働く人を応援しない社会や政治を変えないとこの国の未来はないと思います。

クラリネット仲間。左上端が私。若い人に混じって、吹いてます。

ホームページを開設しています。ぜひ、ご覧下さい。http://tamamoto-narumi.jp/